

地域協働学校だより No.8

令和3年11月29日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

10月27日（水）に「東京2020オリンピック・パラリンピック聖火トーチ フォトスポットリレーキャラバン」が来校し、オリパラで実際に使われた聖火トーチ、ミライトワ、ソメイティの大きなぬいぐるみとの記念撮影が行われました。また、11月5日（金）に行われた2年生の「町たんけん」の様子も紹介します。

【オリパラ聖火トーチと記念撮影】

6年生は一人一人オリンピックのトーチを手で持ったところを撮影していただきました。トーチはスタッフの方が児童ごとに拭きあげ、撮影時のみマスクを外しました。6年生以外の学年は集合写真で、ミライトワとソメイティのおおきなぬいぐるみと一緒に写りました。みなさんピースサインでいい笑顔が撮れました。撮影後にはトーチにもぬいぐるみにも触らせてもらいました。どちらも大人気で、トーチに触るのが待ちきれない子や、ぬいぐるみに抱き着いている子もいました。トーチには高い技術と思いが込められています。なぜピンクがかったのか、なぜこのような形なのか、興味のある方はぜひ調べてみてください。



個人写真の様子

実行委員会の山本さんに伺うと、「コロナ禍で児童の笑顔が減った」という先生方からの声を多く聞くようになり、なんとか笑顔を増やせないか、とこの企画が始まったそうです。オリンピックとパラリンピック両方のトーチやマスコットと一緒に撮影されることは異例で、ENEOSの快諾により実現しました。大変貴重な機会を得ることができました。児童のオリンピック、パラリンピックの思い出がまた一つ深まったのではないのでしょうか。



オリンピックのトーチ。色は「桜ゴールド」。きれいな曲線が多用されたすてきなデザインです。



パラリンピックのトーチ。オリンピックトーチよりピンクがかった「桜ピンク」。



ミライトワとソメイティ



「ありがとうございました。」



【町たんけん（2年）】

わたしたちがすんでいる大すきな町のひみつを見つけよう



2年生が生活科の授業で「町たんけん」をしました。17グループに分かれて市谷小学校周辺の15のお店や施設などに訪問し、すてきなところ探しました。1グループに、保護者やPTA役員、地域協働学校運営協議会委員が1、2名付きそい、1時間くらいで探検しました。

～たくさんの施設を訪問～

児童たちは、到着するときちんとご挨拶し、各自考えてきた質問をしました。インタビューのときには熱心にメモを取っていました。

牛込柳町駅では、券売機の裏まで見学させていただき、呼気のアルコール検査も体験させていただきました。郵便局ではDVDを視聴してから、実際にどのように作業されているのかを見せていただきました。切手の貼る位置や、宛名をきれいに書くことを学び、学校でいつも教わっていることが大事なことだと再確認しました。矢来能楽堂では能面を見せてもらいながら、お堂の構造や、子どもたち



券売機の裏側ってこんな風になっているんだね！

にも分かりやすい演目（附子、土蜘蛛）を教えてくださいました。見たことのない建物の構造などに質問が止まりませんでした。清水屋さんでは、美味しそうなお菓子を見て「友達にも教えてあげよう！」と目をキラキラさせていました。他にもたくさん訪問させていただき、丁寧なお話や、普段見られない扉の向こう側を覗かせていただいて、とても充実した体験になりました。子どもたちからも「楽しかった」「貴重な体験ができた」など喜びの声が聞こえました。児童の「たんけん」を受け入れてくださった地域の方々、本当にありがとうございました。



それぞれ、自分たちの考えたルートに従って目的地まで行きました。

児童たちは「町のすてきなところ」や「町のひみつ」をそれぞれ持ち帰り、まとめを進めています。先生方、保護者の方、地域の方の協力で充実した学習活動になりました。ご協力いただきありがとうございました。引率をお手伝いした大人には、児童たちからお礼状が届くそうです。楽しみです！



学校に戻って書ききれなかったメモを取りました。



約30人の大人が引率のお手伝いをしました。

